

雅風会たより

第12号



阿弥陀如来坐像（川村雅則作）

目次

- ◆ はじめに
- ◆ 故鈴木庸夫さんへ
- ◆ 「大人の寺子屋」仏像教室の展示会
- ◆ あ・ら・か・る・と

2025年7月10日 編集・発行 宗教芸術院「雅風会」
東京都品川区大崎 3-3-10

URL: <http://www1.cts.ne.jp/~h-1butsu/>

◆ はじめに

「雅風会たより」第12号発行の運びとなり、皆様のご厚情の賜物と心から御礼申し上げます。

少しずつ教室が増え、新しく仏像彫刻を始めた仲間との出会いがあるにつけ、この忙しい世相の中で（だからこそ！？）時間をかけて仏像を彫ることに惹かれる人が後を絶たないことに、心強さを感じています。

今秋の仏教美術展は第62回。毎年同じようにここにもいろいろな方との出会いがあり、作品搬入からの4日間が終了すると、次の年へ向かう時間が流れ始めるのを感じます。今年もまた会場でお会いできますように。 合掌 (岩場記)

◆ 故鈴木庸夫さんへ

鈴木さんへの感謝の気持ちが届きますようにと祈りながらこの記事を書いています。雅風会発足当時、雅風会の趣旨に賛同しての一番に会員になって下さり、手探りで進んでいた雅風会をいつも温かく見守って下さいました。困ったときはいつも助けてくださるのでいつの間にか鈴木さんを頼っていたように思います。みんなが異口同音に「楽しいひと」という鈴木さんに、心から「ありがとうございました」とお伝えしたいです。

鈴木さんが彫られる仏像は、美しく優しいお顔です。右の写真は鈴木さんお気に入りの浄楽寺の運慶仏5体の模刻です。雅風会たよりに寄稿していただいた時のものですので、詳細は第8号をぜひご覧下さい。



また、鈴木さんは故川村先生から教えていただいたことを「川村雅則先生語録」として記録されていきました。何度読んでも勉強になりますが、テーマごとに丁寧にまとめられていて、川村先生のご指導を大切にされていたことが伝わってきます。語録の中に「一木の場合は、一木でないように見せる。一木でない場合は、一木のように見せる。」の一文があり、いろいろな解釈があると思いますが、私はこの一文に仏像彫刻の限りなく深く広い世界を感じています。

鈴木さん、あちらの世界でも川村先生とお酒を酌み交わし、仏像談義を楽しんでください。

私の手元に鈴木さんに書いていただきながら掲載の機会を逃してしまった文章があります。作品とともに次に掲載させていただき、ご冥福をお祈りいたします。 合掌 (岩場記)

***** 十一面観音立像（彩色） (鈴木庸夫)

川村門下になって三作目に向源寺の十一面観音を手本にしてパソコンで四面それぞれ別に何回も何回も時間をかけて比率計算を繰り返した上で木取りし、粗彫りの段階では身体の線を眺めまわしながら慎重に彫り進めました。教室で先生にお見せしたところ、しばしテーブルの上で回転させながら「バランスがいいねえ」と褒めてくださった後、「これが彫れるんなら、もっと良い材料を使いなさい」と叱られたのを覚えています。

その十七年後に少し良い檜でひとまわり大きくし、さらに彩色を施したのが、この作品です。



先生曰く「鈴木ワールドだね」

褒められたのでしょうか？ *****

◆ 「大人の寺子屋」 仏像教室の展示会（佐藤正次）

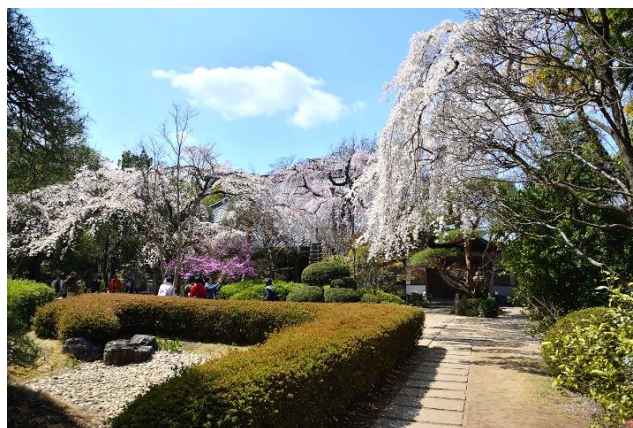


力作がズラリ！ 毎年恒例の作品展（本堂前の廊下にて）



中院では、伝統文化の学びの場として茶道や写経等「大人の寺子屋教室」を主催しており、その中に仏像彫刻教室もあります。

川越市にある天台宗別格本山 中院は平安時代より続く歴史ある寺院で、しだれ桜といえば「中院」と言われる程、春の満開時期には、毎日沢山の見学者が訪れます。



寺院内は大変広く、教室は奥座敷で行い、中庭からの明るい日差しの中で、仏像彫刻に励んでいます。

現在教室の開催は、月1回の為、新人の方に対しては、教本だけでは難しいので、自宅でも楽しく彫れる様、仏手、仏足、地紋や仏頭のサンプルを貸し出し、仕上がりの喜びを持てる様にしております。

又経験者につきましては、作業手順の再確認と道具（トースカン）等の活用で正確な線引きを行い、像全体のバランスを改善し、最終仕上げの顔彫りを特に大切にしております。
顔はそれぞれという方もおりますが、仏像にとって顔は大変重要であり、宗教芸術院の仏の顔に少しでも近づけたらと、生徒さん達も丁寧に顔を彫っております。



中院では、毎年しだれ桜が満開になる春分の日前後（本年は3月20日～23日）に、境内の薬師堂前で「ストリートピアノ in 中院」を開催し、本堂前の縁側では、仏像教室の生徒さん力作の仏像を展示し、訪れた方々に楽しんで頂いております。

日常は静寂に包まれた境内も、この時だけは、早朝より途切れることなくピアノの演奏が流れ、参拝者も沢山訪れ大変賑やかな光景となります。

仏像作品を見学された方が、後日仏像教室の見学に来られ、その後新規入会されるという方が多く、毎年このイベントが生徒さんの募集活動の一環にもなっております。

*** あ・ら・か・る・と ***

◆ 賛助会会員の皆様へ-令和7年度会員継続のお願い-

平素は雅風会の活動にご理解ご協力を賜り、御礼申し上げます。会員の皆様におかれましては、令和7年度（令和7年7月～令和8年6月）も引き続きご継続していただけますよう、宜しくお願い申し上げます。 ※会費は、別紙の宛先に8月末日までにお納めください。

◆ 「第62回仏教美術展」（宗教芸術院）開催のお知らせ

日時：令和7年11月7日（金）～11月9日（日） ※6日（木）は会場準備

場所：京都文化博物館

出品申込：

- ・仏像彫刻教室所属の方は、各教室講師に出品料を添えて8月末までにお申し込みください。
- ・賛助会員で出品ご希望の方は、8月10日までに岩場（連絡先別紙）へご連絡ください。搬入、搬出など詳細の打ち合わせをさせていただきます。

出品のお誘い：

- ・年に一度の仏教美術展！ 今年も&今年こそ出品しませんか？ 大歓迎です！
迷っていらっしゃる方、まずは岩場までご連絡ください！

（第12号編集責任：岩場）

第13号は明年1月に発行の予定です。